

ついた！食べた！美味しかった！

お餅つき大会

2月になり葺の会では7日にお餅つきを行いました。今回も大山さん・花房さん・毛利さん・桑



原さん・内藤さん・岩本さんの6名のご家族の方々がお手伝いに参加してくださいました。もち米が蒸し終わると、もち米を臼に入れて杵でこねる作業を秋葉職員と海斗さんで行いました。秋葉さん指導のもと海斗さんも上手にこねていました。こねあがると、メンバーさんが付きやすいように秋葉さんがまずつきまします。そしていよいよメンバーが順番におもちをつきまします。2階に「よいしょ！」「頑張れ～」の声と木臼のいい音が響きます。杵でおもちをめがけて打つのは意外と難しいのですが、秋葉職員とこねどり（お元をひっくり返す）の池田施設長がアシストしながら、皆さん上手におもちをついていました。う

すの真ん中のお餅にしっかりと杵を打ち付けた時の音は、とても良い音がします。あちこちから「いい音！！いいよ～！！」と声飛びます。もう何年も行っているの、皆さん餅つき姿もどうにっています。特に女性メンバーは力の入れ具合も上手で、おもちをつく姿もとてもかっこよかったです。普段はなかなか動きが小さくゆっくりな白井さんは、別人かと思うほど杵をしっかりと上まで振り上げて、その力強い事と言ったら……。初めて参加の岩本さん・井上さんもとてもまくりズムをとって、楽しそうにっていました。メンバーがおもちをついている間に、給食室で木根職員とご家族の方がお雑煮用の野菜がたっぷり入ったお汁を大鍋二つ分作ったり、つきあがったお餅を一口サイズに切って食べやすくして、お皿に次々と並べて、着々と準備は進みます。今年もおちはお雑煮



ときなご餅・からみ餅・あんこ餅、いそべ餅です。いただきますのご挨拶をすると、皆さん早速好きなおもちを食べ始めました。お忙しい中お時間を作って参加していただいたご家族の皆さま、ありがとうございました。

(内堀)



あしの家だより



田中 三華

【西新井ホーム】

急に暖かくなったり冷え込んだりと忙しい天候の2月ですね。

昨年9月より西新井ホームの世話人として働いております、田中 三華（たなか みか）と申します。足立区には1年前に引っ越してきて、その前は神奈川県川崎市に住んでいました。趣味は大好きなアーティストの音楽を聴いたり、ライブに参戦したりする事とシュノーケリングです。2年前に初めていった沖縄で、海亀に遭遇して一緒に泳いだことは宝物の思い出です。おっちょこちょいなところがありますが、先輩方に助けられ、メンバーさんが温かく迎えてくれるお陰で少しずつ業務に慣れていくところです。どうぞ宜しくお願いします。



ホームでは、先日奥さんが部屋を整理していて、昔の写真が出てきたと貴重な若かりし頃の姿と当時のエピソードを教えてください嬉しかったです。7日の作業所の餅つきでは、みんなでお餅をついていろいろな味を楽しんだ事や、中原さんは話題の映画を観にいったこと、服部さんはお父さんと出かけたことなどを話してくれます。春まで後もう少し…栄養ある食事作りと体調管理のサポートをさせて頂き、健康第一にみんなで楽しく過ごしていきたいと思っております。

【西伊興ホーム】

田村 恭子（やすこ）

節分が終わり、いよいよ春の到来を待ちわびる頃になりました。さて、西伊興ホームに新しい世話人さんが入りました。田村恭子さんです。やさしく、お料理上手の方で土曜日のみ、ホームに来てくださっています。宜しくお願い致します。今回は田村さんに皆さんの様子を書いてもらいました。（入江）

厳しい寒さの日が続いていますが、暖かい日もあり、三寒四温で少しずつ春に近づいているのを感じます。寒暖差で体調を崩しがちですが、皆さんお変わりなく過ごされています。寒さ対策もしっかりされていますが、まだまだ「寒い、寒い！」とホームに帰ってこられています。2月2日(日)は、節分。あいにく朝から雨でしたが、午後から西新井大師で節分の豆まきがあり、安部さん、田沢さん、増田さんの3人で行かれました。「お相撲さんもいたよ。」と話され、行って良かったと笑顔でした。たくさんの福豆をもらって帰ってこられ、その福豆を他のメンバーさんにおすそ分けされました。松本さんは美味しいと喜ばれていました。きっと皆さん素敵な一年になるでしょう。



2月13日(木)作業所で健康診断が行われました。私も初めて作業所に行きました。たくさんの人でしたがスムーズに進んでいました。作業所には、皆さんの作品がたくさん飾られていて、どの作品もとても素晴らしかったです。集中して取り組まれたんだなと感じました。ホームにも書き初めが飾られています。立ち止まって眺めていると、書いた文字やその字を選んだ理由などを、少し照れながら目をキラキラさせて話してくれます。楽しいひと時だと感じています。

とても暖かく過ごしやすい春は、もうすぐです。引き続き体調に注意して過ごしていけたら良いですね。

作業所日記

内堀 真樹子

今年は立春が2月3日の為、節分は2月2日でした。お豆を幾つ食べたとか、おうちの中で豆をまいたなど楽しそうに話をしていたメンバーもいました。畑では新しいハウスにも慣れてきました。ハウスが広いのでポットの土いれや、植替え作業はハウスの中で行っています。植替えが終わった一日の最後に必ず皆さんが行っている事は、植替え作業で落ちてしまった土を掃いて掃除をする事。新しいハウスをいつまでもきれいに保てるように協力しています。休憩棟の工事がある為土ふるいは倉庫の前に場所を設けて行っています。寒さに負けずに土ふるいを行っています。私が畑で作業をした時は海斗さんが1人で黙々と行っていました。海斗さんは振った土を混ぜる作業や、作業後の片づけも手際よく行うのでとても頼もしいです。新しいハウスになって、皆さん今まで以上に片づけを気にするようになったのではと思います。最近夏のお花、ペチュニアやマリーゴールドのポット上げが多くなってきて、ポット上げをする植物によっては使用するポットのサイズが異なるのですが、ポットもきれいに整頓してあるので、すぐに対応できてとても作業がスムーズです。整理整頓大切ですね。今後もよろしくお願いします。



作業所では採尿セットや贈答品の中身入れ、今月はネームホルダーの紐結びや、電車のファイルとステッカーの封入などいつもと違う内職もありました。珍しい作業としては、1センチぐらいの亚克力板10個を細長い袋に入れる作業です。小さな袋にきれいに並べて入れるために、10個をきれいに積み上げてそのまま持って袋に投入しますが、とても小さくて積み上げるのも難しいのですが、松本さん・青木さん・明久さんは上手に積み上げていました。特に明久さんは「楽しいです」と言いながら作業を行っていたようです。また10個積み上げた亚克力板をそのまま袋に入れる作業は、幸坂さんが上手にとっても綺麗に行っていました。また、今月岩本さんが花売りデビューをしました。場所は竹ノ塚センターです。お花を車から降ろしたり、お花を並べたりする作業も手際よく行っていました。最初は緊張している様子で「いらっしゃいませ〜」の声出しも小さい声でしたが、持ち前の明るさと笑顔で、慣れてくると大きな声で言えるようになり、声を聞いたお客さんが「一生懸命、いらっしゃいませを言っているから、お兄ちゃんお花買っていくね」とお花を買ってくださった方もありました。帰りの挨拶も元気に言えて、センターの方から「また来てね」と言われて本人も嬉しそうでした。また1つ新しいことにチャレンジできるって素敵ですね。畑までの道で梅の花の香りがしています。寒暖の差が激しいですが、春本番が待ち遠しいですね。今年の桜はいつ頃咲くのかな？楽しみです。

カルチャー教室 今後の予定

さをり	3月 1日・15日	陶芸	3月 1日・15日
習字	3月 5日・19日	水彩画	3月 7日・21日